

# 原子燃料サイクルと核廃絶・核軍縮を考える

—令和4年度第1回研修会を開催—

令和4年6月3日（金）、KAKKINは友愛会館においてエネルギーと経済・環境を考える会と共催で、研修会を開催しました。

前半の講演Ⅰは、電気事業連合会原子力部部長の藤田博文氏の「原子燃料サイクルについて」。原子力発電の燃料に着目し、そもそも原子燃料サイクルとはどのようなものなのか、それと関連するプルサーマル、高速炉、放射性廃棄物処理なども含めて、これまでの経緯を振り返り、現状と課題を確認しました。



藤田講師



和田講師

また後半の講演Ⅱは、平成国際大学名誉教授、KAKKIN副議長の和田修一氏の「核兵器はなくなるか？—核不拡散条約と核兵器禁止条約の課題」。核兵器は世界中で廃絶を求める声が上がっているにもかかわらず、実質的に増強されつつある中で、核不拡散条約と核兵器禁止条約という核軍縮・廃絶を目指す2つ条約の課題も含め、核兵器の問題とKAKKINの役割について考えました。



\* 詳細は後日発行する KAKKIN ニュース第 87 号に掲載します。